

## 試合の進行（プロトコール）

### 試合の進行

時刻	チ ャ ム	主 審	副 審	記 録 員	線 審	点 示 員
設定時刻 5分前	ウオームアップ用チームのボール、 チームプラカード、得点計時プラカ ードを準備し集合完了。入場。	コート係員の指示により、整列後アリーナ内に並んで入る。（主審 副審 記録員 選手 線審 点示員） 副審は入場から5分を計時する（入場～アップ終了までの時間となる）				
	荷物を仮置きする。 チームボールを使用して、ウオーム アップを行う。	ネットの高さ、張り具合、及びアンテナの位置等をチェッ クする		記録席に着き、記録の 準備をする。 記録席引出から記録用 紙を取り出す	記録席付近で待機す る。	
試合設定 時刻	キャプテンは、トスのために記録席 へ 行く。 トスの後、監督またはキャプテンは 記 録用紙にサインする。 ベンチを移動する。	記録席前で、副審を立ち会 わせてトスを行う。 両チームの監督又は、キャ プテンを記録席に導き記録 用紙にサインをさせる。		トスの結果を記入する 。 A・Bの記入 コート記入後サーブ権 記 入。		トスの結果に基づ きチーム名を確認 し、セットの得点 表示を0：0にす る。
1分後	チームが一緒に公式練習(合同で3 分のみ)を開始する。 すべてのプレーヤーはゲームの服 装で待機する。	試合球をどちらかのチーム に渡す。 公式練習開始を吹笛する。 公式練習中にラインアップ シートを要求する。 ボール、記録用紙の内容、 ゼッケン等ゲームに必要な 用具をチェックする。 副審及び線審・点示員と打 ち合わせを行う。 ラインズマン イン、アウト、ワンタッ チ、アンテナ関係、サー バーのフットフォールト 。 点示員 主審がポイントを示した 時点得点を入れる。 (22日第1試合は一斉開 始となるよう時間調整をす る。)	公式練習の計時を行い、両 チーム監督から提出された 、ラインアップシートを確 認し記録員に渡す。 選手の番号とエントリーを 確認する。	両チームのラインアッ プシートを記入しプレ ーヤーを確認したら、 ラインアップシートを 副審に返却する。 サーブ順を記載する 線審のサインをもらう 。	記録席でサインをし た 後、主審と打ち合 わせ を行う。 記録用紙にサインを する。	得点表示について 主審と打ち合わせ を行う。
4分後	公式練習を終了し、両チームの選手 は速やかにベンチに戻る。	副審からの通知を受け公式 練習終了を吹笛する。	公式練習終了を主審に通知 する。 記録用紙を確認する。 得点板を確認する。		公式練習終了後速や かに定位置(ライン から 50cm後方) につき、目をならす	

時刻	チーム	主 審	副 審	記 録 員	線 審	点示員
5分後	すべてのプレーヤーは、キャプテンを右端にしてエンドライン上に整列する。 主審の吹笛の合図によりネット付近で両チームの選手が挨拶（握手）を交わす。 両チームの選手は速やかにベンチに戻る。スターティング・メンバーはユニフォーム姿で待機する。	主審台に向かい左側に立つ主審側チームの選手をエンドライン上に導く（遅れている場合） 審判台の前でネットをはさんで右側に位置する。 両チームの選手が整列したら、挨拶（握手）を交わすように吹笛をする。	主審台に向かい右側に立つ副審側チームの選手をエンドライン上に導く（遅れている場合） 審判台の前でネットをはさんで左側に位置する。	両チームの挨拶に合わせて礼をする。	両チームの挨拶に合わせて礼をする。	両チームの挨拶に合わせて礼をする。
6分 30後	スターティング・メンバーはベンチから直接コートに入る（主審の吹笛の合図を待つ）	吹笛で選手をコート内に導く。 ゲームキャプテンを確認する（トスをしたキャプテンの場合は確認は不要・キャプテンマークは腕章を使用する） 22日第1試合のみ、試合開始の準備ができたなら、両手で頭上に を作り、競技委員長に合図を送る（以降の試合は追い込み式で開始する）	ラインアップシートと照合し、符合していたら記録員の合図を確認して両手をあげて主審に合図する。 ボールを最初のサーバーに送る。 ラインアップ・シートは右側チームは右側ポケットに、左側チームは左側ポケットにしまい必要に応じて確認する。 <u>コート内人数確認後両手を挙げる。</u>	ラインアップシートの番号とスターティング・メンバーを照合する。符合していたら両手をあげて副審に合図する。	判定の構えに入る。	
7分後	最初のサーバーは、大会長の吹笛により主審のサービス許可のハンドシグナル後にサービスを行う。 監督は <b>試合中</b> ベンチの記録席に最も近い位置に <u>座っていない</u> なければならない。	サービス許可の吹笛をする。 （22日第1試合のみ、大会長のホイッスルにより全コート一斉開始でサービス許可合図とする）	レシーブ側チームの反則をみる。 ベンチコントロール	サーバーの番号を確認しチェックする。	ボールの飛来に応じて移動しながら、ジャッジを行う。	ゲームに合わせて得点を加える。

《1セット2セット間》

時刻	チーム	主 審	副 審	記 録 員	線 審	点示員
セットの終了	セットが終了したらコートプレイヤーはエンドラインに整列する。プレイヤーは主審の吹笛、指示によりコートを替えそれぞれのベンチに戻る。 監督は次のセットのラインアップシートを提出する。	セット終了の吹笛とハンドシグナルをし、両チームのプレイヤーがエンドラインに整列したらコートの交代を吹笛で合図する。 セット終了後ただちに次のセットのラインアップシートを要求する。	14点目を速やかに主審に知らせる。 主審のコート交代の吹笛と同時に2分30秒の計時を開始する（主審のコートチェンジから計時開始） ボールを保管する。 両監督に次ぎのセットのラインアップシートの提出を求め、これを記録員に渡す。	14点目を速やかに副審に知らせる。 主審のコート交代の吹笛と同時に2分30秒の計時を開始する（主審のコートチェンジから計時開始） 勝利チームの得点を印で確認し、勝利チーム名を記入する。試合結果欄に得点・Wを記入する 両チームのラインアップシートを受け取り、番号を記入する等次のセットの準備を行う。 ラインアップシートを副審に返却する。	定位置後方で待機する。	得点を両チームとも0に戻し、チーム表示を確認して次セットの準備をする
2分30秒後	副審の吹笛でスターティング・プレイヤーはベンチから直接コートに入る。		セット間終了の吹笛をする。 両チームの選手をコートに導く（遅れている場合） ラインアップシートと照合し、符合していたら記録員の合図を確認して両手をあげて主審に合図する。 ボールを最初のサーバーに送る。 ラインアップ・シートは右側チームは右側ポケットに、左側チームは左側ポケットにしまい必要に応じて確認する。 <u>コート内人数確認後両手を挙げる。</u>	セット間終了を副審に知らせる。 スターティング・メンバーを照合する。符合していたら両手をあげて副審に合図する。	定位置につき判定の構えに入る。	
3分後	最初のサーバーは、主審のサービス開始の吹笛によりサービスを行う。	サービス許可の吹笛をする。	レシーブ側チームの反則をみる。 ベンチコントロール	サーバーの番号を確認しチェックする。		

《2セット3セット間》

時刻	チーム	主 審	副 審	記 録 員	線 審	点 示 員
セットの終了	セットが終了したらコートプレイヤーはエンドラインに整列する。プレイヤーは主審の吹笛、指示によりそれぞれのベンチに戻る。 (主審から見て右側チームはサイドラインに沿って移動しベンチへ、左側チームは審判台を通過して直ぐネットに沿って移動しベンチへ入る)	セット終了後の吹笛後、両チームのプレイヤーがエンドラインに整列したらそれぞれのベンチに戻るよう合図し主審台を降り記録席前に行く。	14点目を速やかに主審に知らせる 主審のベンチに戻れの吹笛と同時に2分30秒の計時を開始する。 ボールを保管する。	14点目を速やかに副審に知らせる。 主審のベンチに戻れの吹笛と同時に2分30秒の計時を開始する。 勝利チームの得点を印で確認し、勝利チーム名を記入する。試合結果欄に得点・Wを記入する 両チームのラインアップシートを受け取り、番号を記入する等次のセットの準備を行う。	定位置後方で待機する。	得点を両チームとも0に戻し次セットの準備をする。
	両チームのキャプテンはトスのために記録席へ行く。 監督(キャプテン)はラインアップシートを提出する。	両チームのキャプテンを呼び、副審を同席させて、トスを行い、サーブ権またはコートを選択を決める。	両監督に次のセットのラインアップシートの提出を求め、これを受け取り記録員に渡す。	トスの結果を記入する副審から、3セット目のラインアップシートを受け取り、番号の記入等次セットの準備をする。コート記入後サーブ権記入。 ラインアップシートを副審に返却する。		トス結果よりチーム表示の取り付けをおこない次セットの準備をする。
2分30秒後	副審の吹笛でスターティング・プレイヤーはベンチから直接コートに入る		セット間終了の吹笛をする。 両チームの選手をコートに導く(遅れている場合)ラインアップシートと照合し、符合していたら記録員の合図を確認して両手をあげて主審に合図する。 ボールを最初のサーバーに送る。 ラインアップ・シートは右側チームは右側ポケットに、左側チームは左側ポケットにしまい必要に応じて確認する。	セット間終了を副審に知らせる。 スターティング・メンバーを照合する。符合していたら両手をあげて副審に合図する。	定位置につき判定の構えに入る。	
3分後	最初のサーバーは、主審のサービス許可の開始の吹笛によりサービスを 行う。	サービス許可の吹笛をする	レシーブ側チームの反則をみる。 ベンチコントロール	サーバーの番号を確認しチェックする。		

《3セットのコートチェンジ》

いずれかのチームが8点となったとき	両チームはそのままの位置から右側の支柱の外側を回りコートを変更する。	8点で吹笛後、両チームにコートを変更するよう吹笛とシグナルで合図する。	コートチェンジ後にサービス側にボールを送る。交替したコート内の選手が交替前の位置と符合していたら、記録員の合図確認し、主審に両手を上げ合図する。	コートチェンジの処理をしコート内のプレイヤーの位置、サーバーを確認し符合していたら両手を上げ合図する。		
位置確認後速やかに後	交代前のサーバーは、主審のサービス許可の吹笛によりサービスを行う。	位置確認が終わったらサービス許可の吹笛を行う。	レシーブ側チームの反則をみる。 ベンチコントロール	サーバーを確認しチェックする。		

《試合の終了》

時刻	チーム	主 審	副 審	記 録 員	線 審	点 示 員
速やかに	試合が終わったら交代競技者を含め全員エンドラインに整列し、主審の吹笛で相手チームと挨拶・握手を行う。キャプテンは主審と副審に感謝の挨拶を行う。そして記録用紙にサインを行う。 荷物の整理、チーム表示カード・点示表示、チームボール等の確認をする。	セット終了の吹笛後、両チームのプレイヤーをエンドラインに整列させる。審判台から右側に降り、副審が反対側に着いたら、吹笛しで両チームに挨拶・握手させる。 副審と共に、両チームのキャプテンを伴って記録席に行き記録用紙にサインさせる。 記録用紙の記録内容に間違いがないか確認し、サインする。	14点目を速やかに主審に知らせる ボールを保管する。 審判台左側に立つ。 記録席に行き記録内容を確認しサインをする。	14点目を速やかに副審に知らせる。 両チームの挨拶に合わせて礼をする。 試合の結果をまとめる <u>その後次の順でサインをもらう。</u> <b>ア 記録員</b> <b>イ 両チームのキャプテン</b> <b>ウ 副審</b> <b>エ 主審</b> 主審のサインが終わったら退場の準備をする	両チームの挨拶に合わせて礼をする。	両チームの挨拶に合わせて礼をする。
	チームは退場する。	全ての確認が終わったら、審判団・選手は、入場と同じように主審・副審を先頭に退場する。 記録員は記録用紙を係へ提出する。 審判団は、コントローラーの指示・指導を受ける。				

《 タイム・アウト 》

チーム	主 審	副 審	記 録 員	備 考
監督又はゲームキャプテンからのタイムアウトの要求	そのタイムアウトが正当ならば、許可のハンドシグナルをする。	監督又はゲームキャプテンからのタイムアウトにより吹笛し、ハンドシグナルを示した後に30秒の計時を開始する。 30秒でタイムアウト終了の吹笛をする（連続して2回目のタイムアウトが要求されればの要領を行う） 選手がコート内に入るのが遅い場合は、コートに入るように導く。 そのタイムアウトが2回目になれば、タイムアウトに入った時に記録員からの回数通告により2回目のタイムアウトであることを主審に通告し、そのチームの監督又はゲームキャプテンにも同様に通告する。 そのチームから3回目のタイムアウトの要求があった場合にはそれを拒否する。 タイムアウト終了後、コート内選手のポジションを確認し、正規のポジションが確認できたら記録員の確認をみて主審に両手を挙げる。	タイムアウトの記録をする。 2回目のタイムアウトとなれば副審に、2回目であることを通告する。 タイムアウト終了後、コート内選手のポジションを確認し、正規のポジションが確認できたら両手を挙げる。	AチームとBチームの試合において同一ボール・デッド中に A：競技者交代 B：タイムアウト B：競技者交代                   OK  A：タイムアウト B：競技者交代 A：競技者交代                   OK  A：タイムアウト B：タイムアウト A：タイムアウト                   OK  A：競技者交代 B：タイムアウト A：競技者交代                   NO  ダブルファウル時点でタイムアウト、競技者交代は要求できない。  【不当な要求・タイムアウト、競技者交代】 以下同一チームが、同一試合で繰り返した場合、その都度反則となる（一度は口頭で注意する） ラリー中、またはサービス許可の吹笛と同時に吹笛後に要求したとき。 要求する権利のない者が要求したとき。  競技者交代を、競技の再開を待たずに連続して要求したとき。 規定回数を超えて要求したとき。 (不当な要求であっても、競技に影響を及ぼさず、また、試合の遅延とならなければ拒否し、反則とするようなことは避ける)

《 競技者交代 》

チーム	主 審	副 審	記 録 員	備 考
<p>監督又はゲームキャプテンからの競技者交代の要求 2人以上の競技者交代は要求の際に<u>その数</u>を示す</p>	<p>その競技者交代が正当ならば、許可のハンドシグナルをする。</p>	<p>監督又はゲームキャプテンからの競技者交代要求により吹笛し、ハンドシグナルを示す。 交代する競技者をサイドラインを挟んで、ショートサーブスラインとネットとの間に導く。 記録員の交代可能の片手拳手を確認して競技者を交代させる。 記録員の記録記載完了の両手拳手を確認して所定の位置に戻る。 コート内に4人の競技者を確認して主審に両手を挙げる。 2人以上の競技者交代の場合、要求の際に<u>その数</u>を示さない場合には1人の競技者交代と判断し、<u>1人のみの競技者交代</u>をする。 その競技者交代が3回目、4回目になれば、記録員からの通告により<u>その回数を主審に通告し、そのチームの監督又はゲームキャプテンにも同様に通告する。</u> そのチームから<u>5回目の競技者交代の要求があった場合には拒否する。</u></p>	<p>要求のあった競技者交代が可能の場合は片手を挙げる。挙げたまま競技者交代の記録をする。 交代の記録が完了したら両手を挙げる。 3回目、4回目の競技者交代となれば副審に、その都度、その回数であることを通告する。</p>	<p>競技者交代を要求したチームは、試合が再開されないうちに連続して、競技者交代を要求することはできない。</p>

《 ロング・サーブ 》

サービス順を誤ってサーブを打った場合

反則中に得た得点は取り消される。

相手チームにサービス権と1点を与える。

正しいポジションに戻す。次のサーバーの確認をしておく。

《 負傷の場合の例外的な競技者交代 》

下の年代の者が負傷したが、同年代の交代ができず、上の年代の同性の者との交代を認める。

すでに競技者交代を済ませており、正規の交代ができない場合、もう一度、先に交代した者と交代を認める。

4回目の競技者交代が終了している場合、もう一度（5回目の交代）交代可能な競技者（年代、性別の条件を満たした競技者）との交代を認める。

これらの例外的な競技者交代が行われた場合は、その負傷した競技者はその試合が終了するまで出場できない。

《 試合中の競技者の負傷に対する主・副審の処置 》

イン・プレー中に重大な事故が起きた場合、主審はただちに競技を停止し、医療スタッフ（医師、看護師）のコート内への立ち入りを許可する。

そして、ラリーはやりなおしとする。

負傷した競技者が正規にも、例外的にも交代させられない場合は、その競技者に3分間の回復のためのタイム・アウトを与える。

しかし、試合中、同じ競技者に対してくり返し与えない。回復しない場合は、そのチームは不完全であると宣告する。

この規定に従って試合が続行できなくなったチームは、失格となり、そのセット（またはその試合）は没収となる。

《 その他 》

ゼッケンでみる年代    1・2番・・・40歳男子    3・4番・・・40歳女子    5・6番・・・50歳以上の男子    7・8番・・・50歳以上の女子